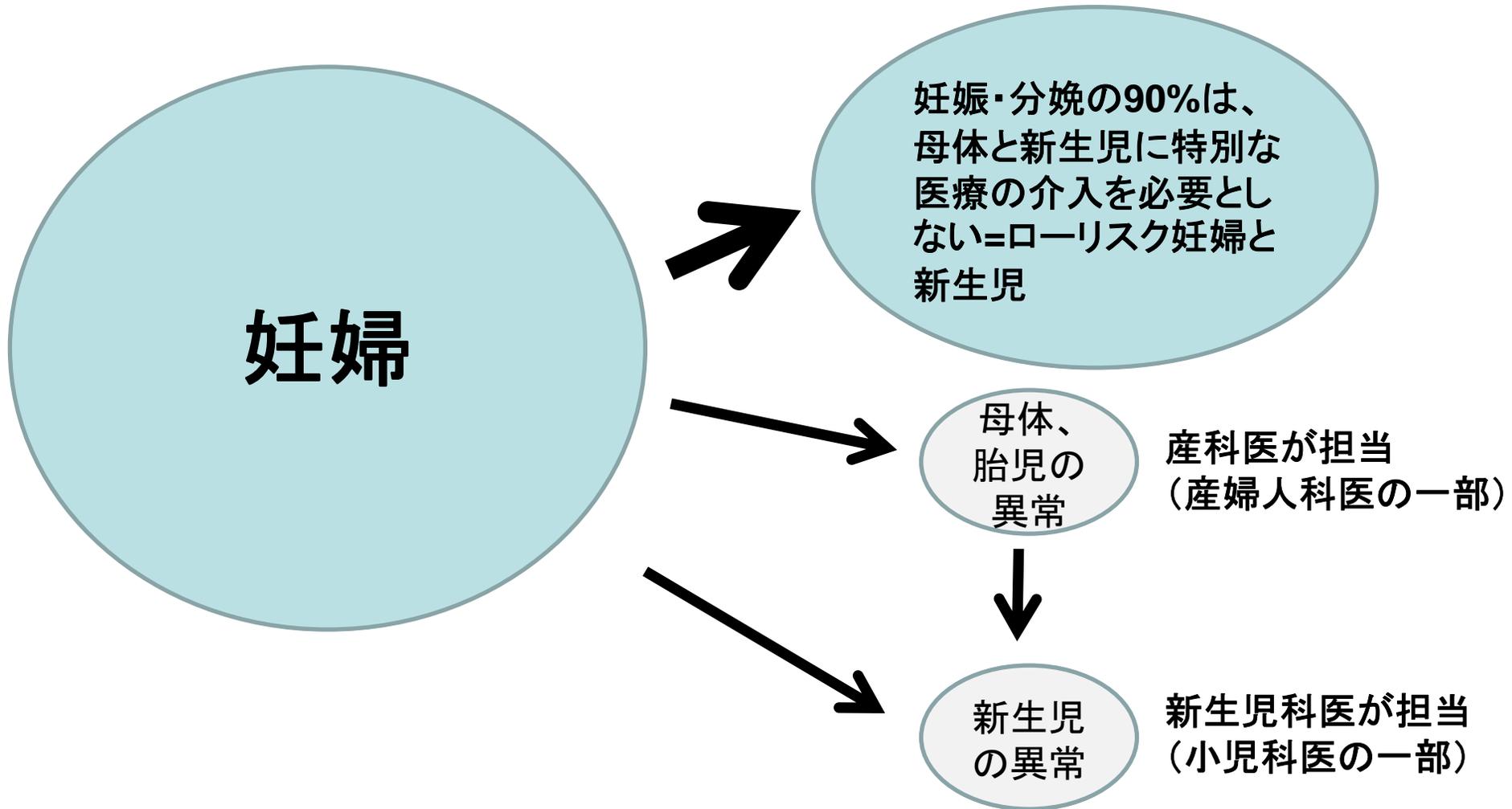


日本の新生児医療の 現状、課題そして対策

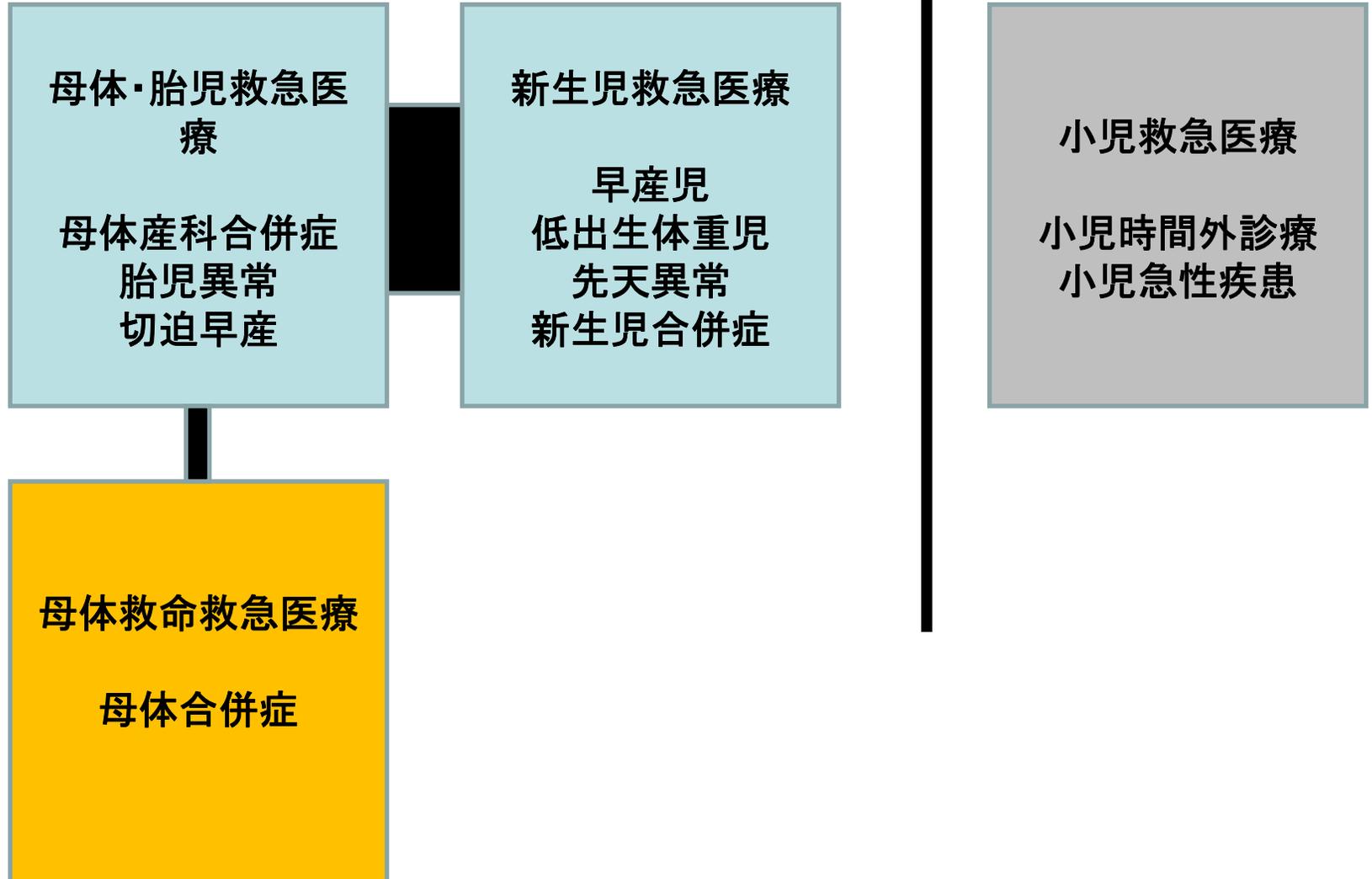
東京女子医科大学母子総合医療センター

楠田 聡

周産期医療とは



救急医療からみた周産期医療



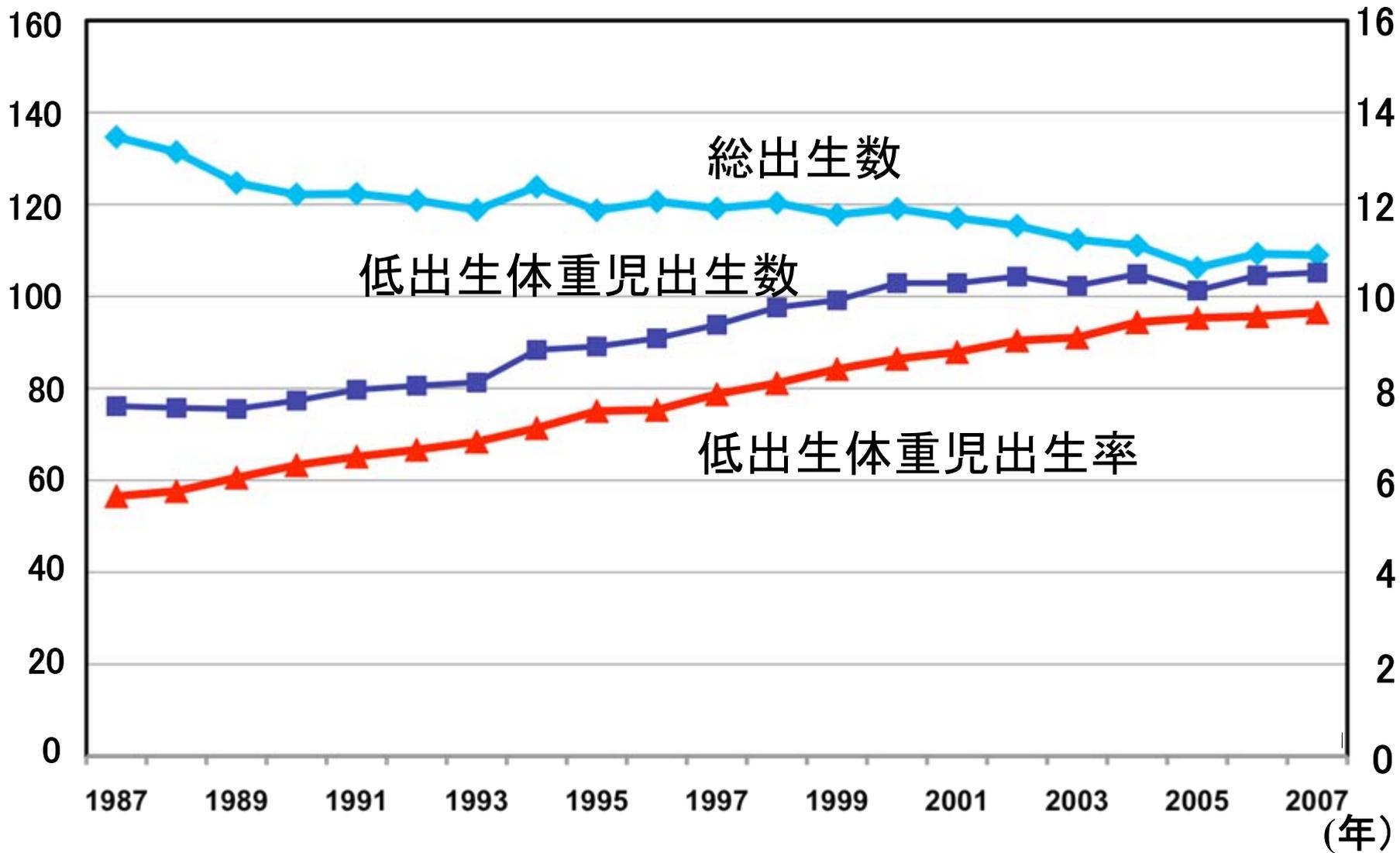
現状

- 日本の新生児医療はハイリスク児の増加にも関わらず予後は向上を続けている
- その結果、世界最高水準の新生児死亡率を過去20年以上維持している
- この効果は日本人の平均寿命の長さにも表れている
- この世界最高水準の新生児医療は、多くの医師、資源を必要とすることなく達成している

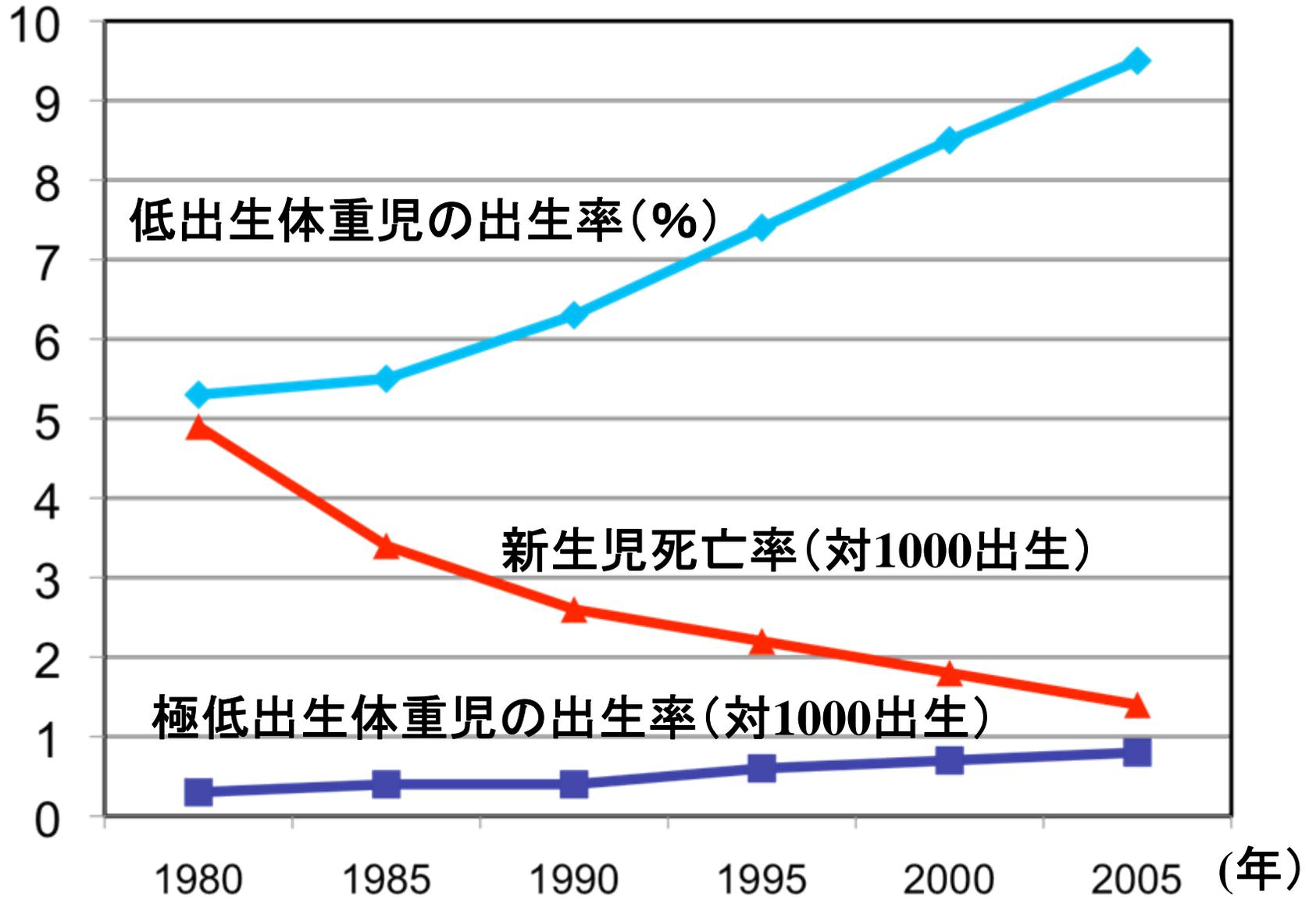
低出生体重児の出生率

(百万人)

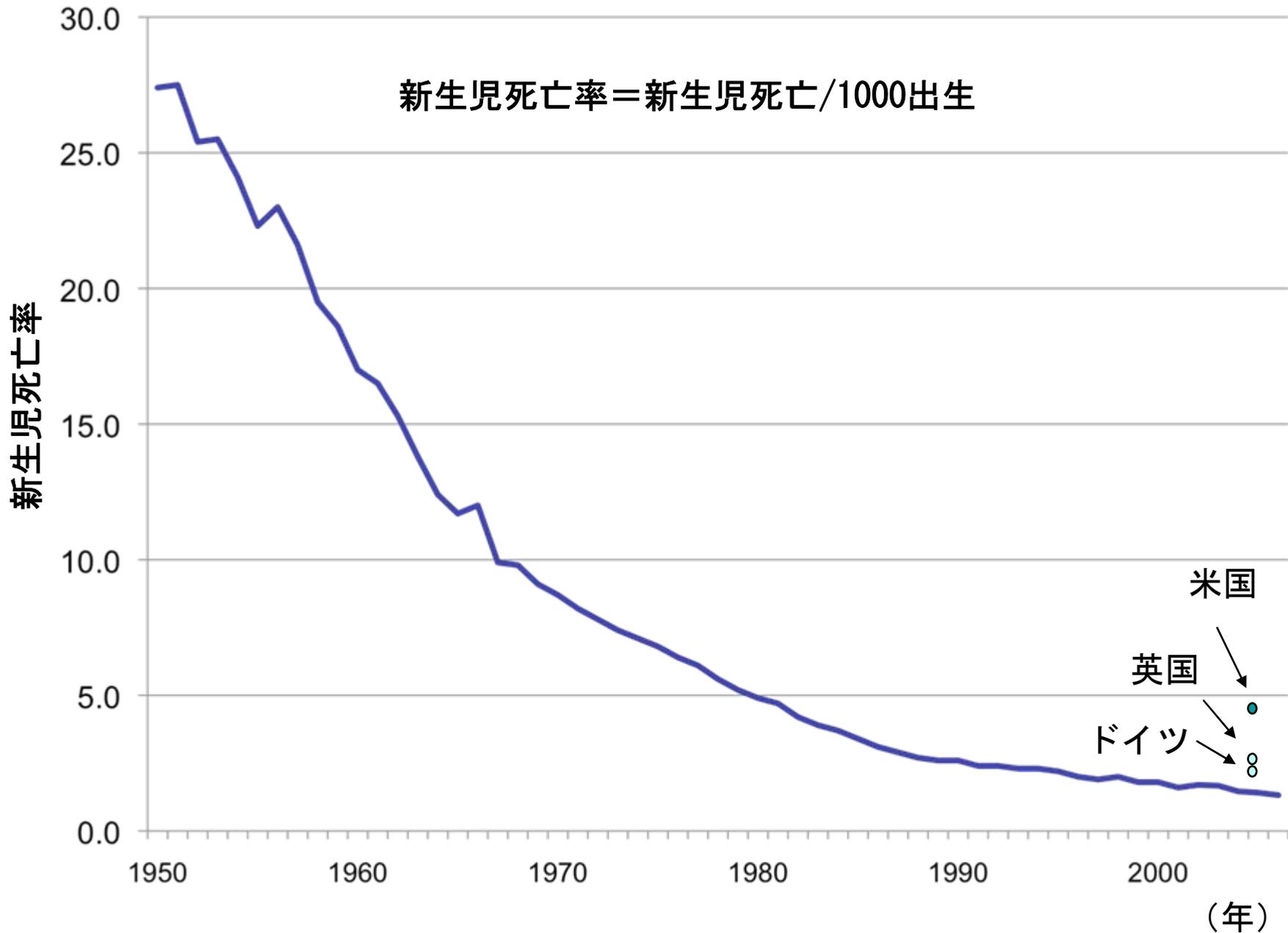
(万人/%)



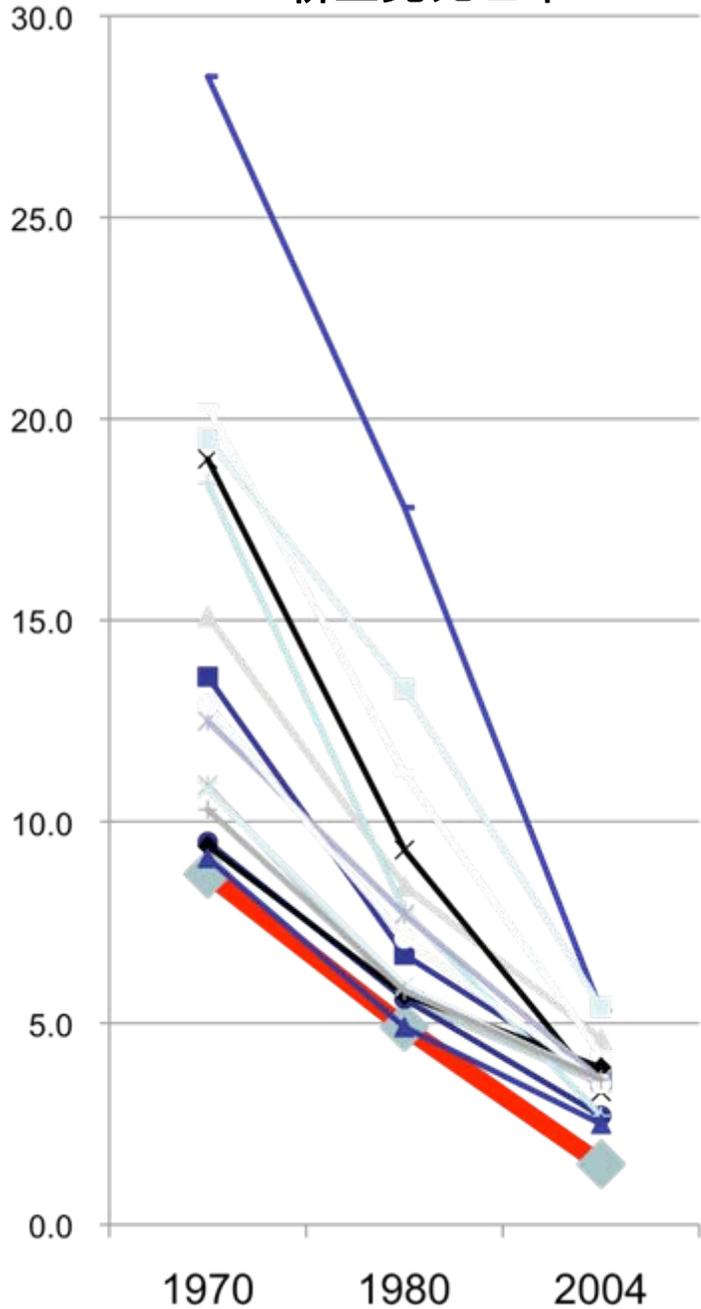
5年単位の推移



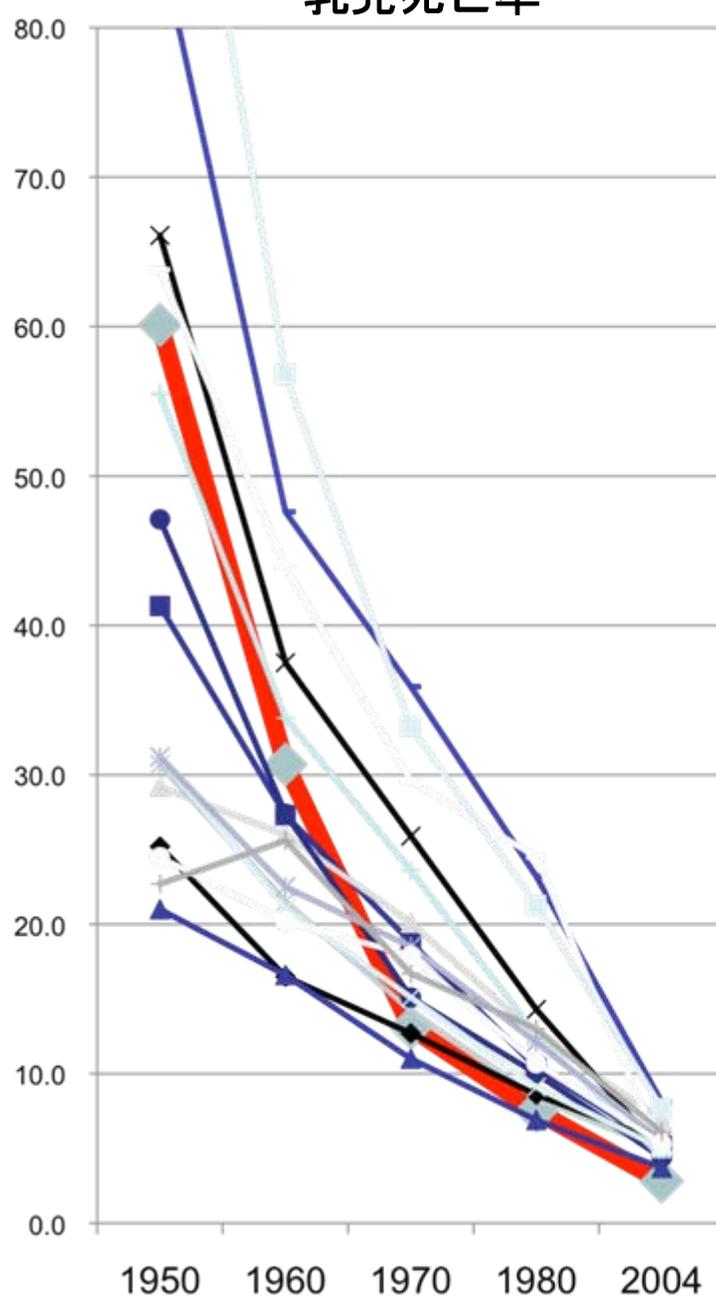
過去50年間の日本の新生児死亡率の推移



新生児死亡率



乳児死亡率

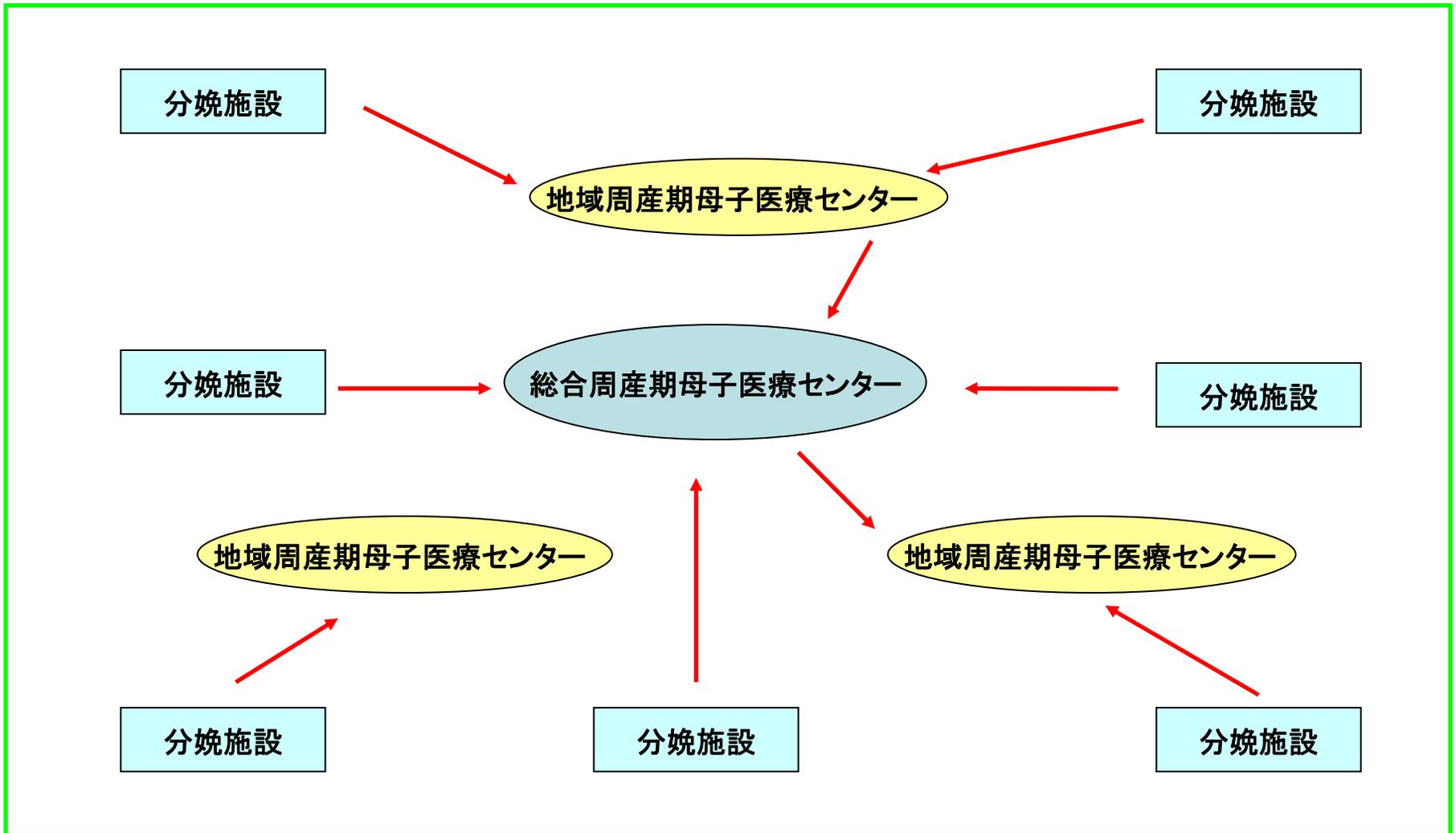


国際比較

- 日本
- カナダ
- ▲ アメリカ合衆国
- ✕ オーストリア
- ✱ デンマーク
- フランス
- ✱ ドイツ
- ハンガリー
- イタリア
- ◆ オランダ
- ポーランド
- ▲ スウェーデン
- ✱ スイス
- ✱ イギリス
- オーストラリア
- ✱ ニュージーランド

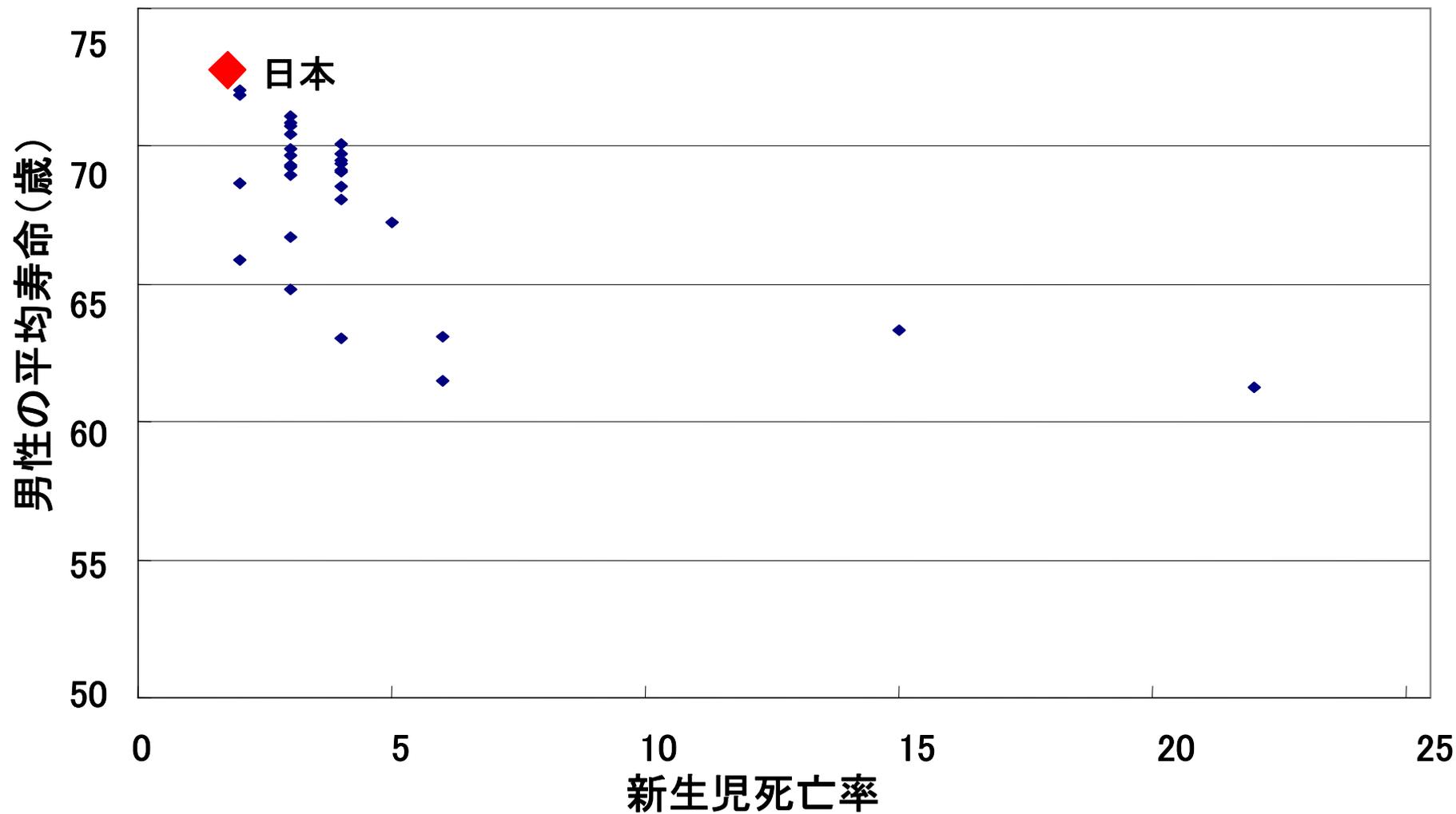
周産期医療ネットワーク

人口100万人、出生1万人、低出生体重児900人

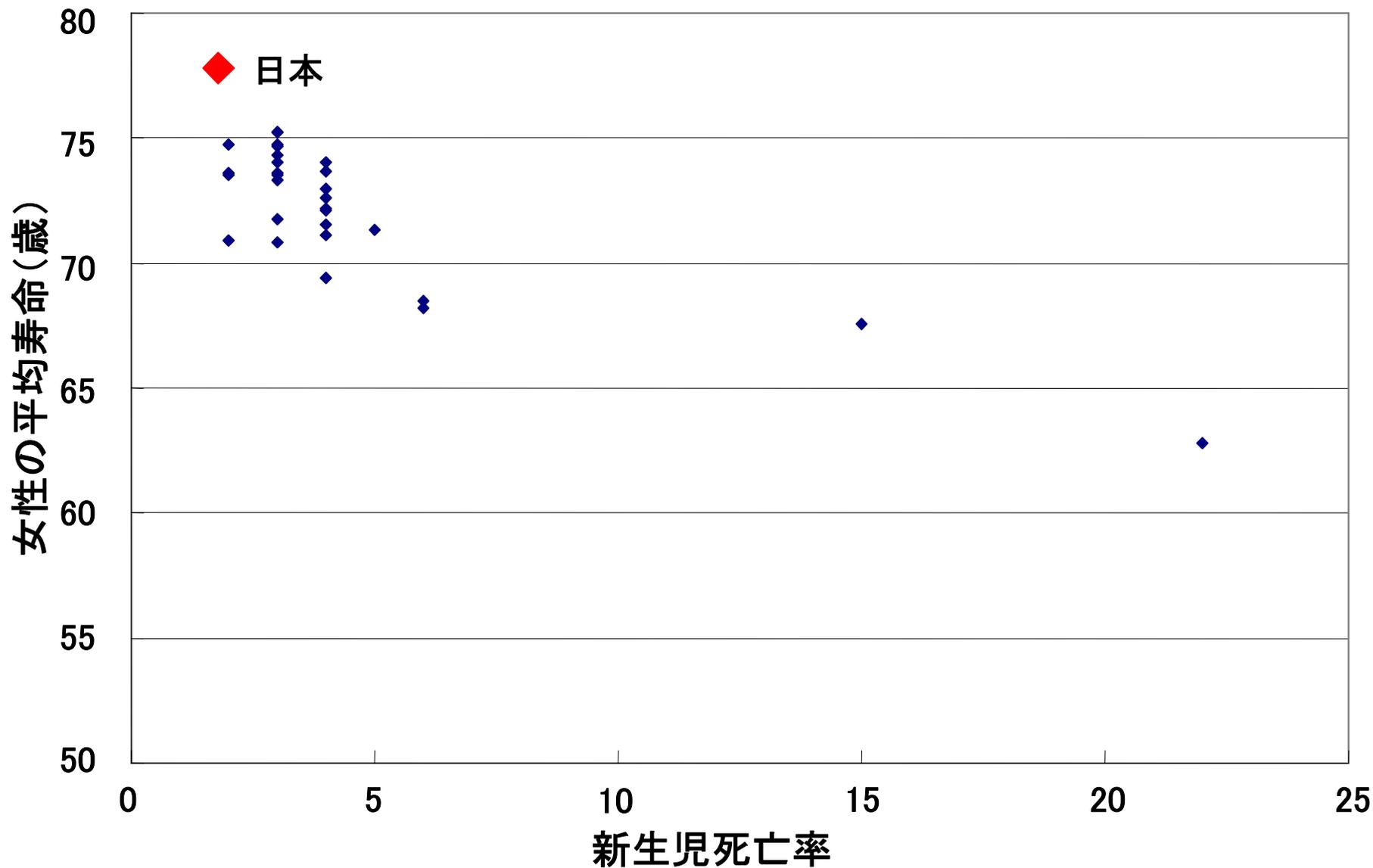


平成6年から総合周産期母子医療センターが全国に整備

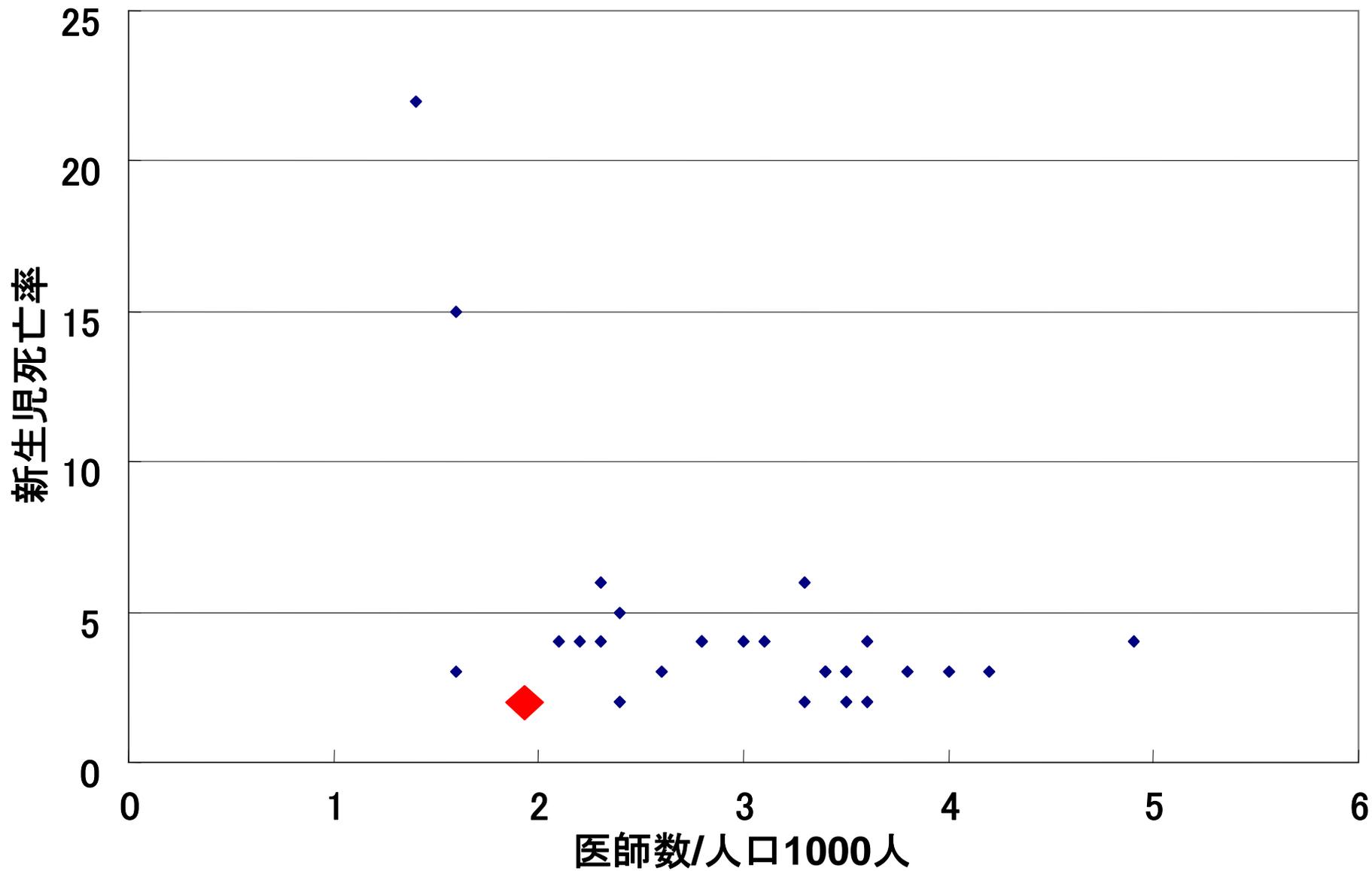
平均寿命(男性)と新生児死亡率の関係(2002年)



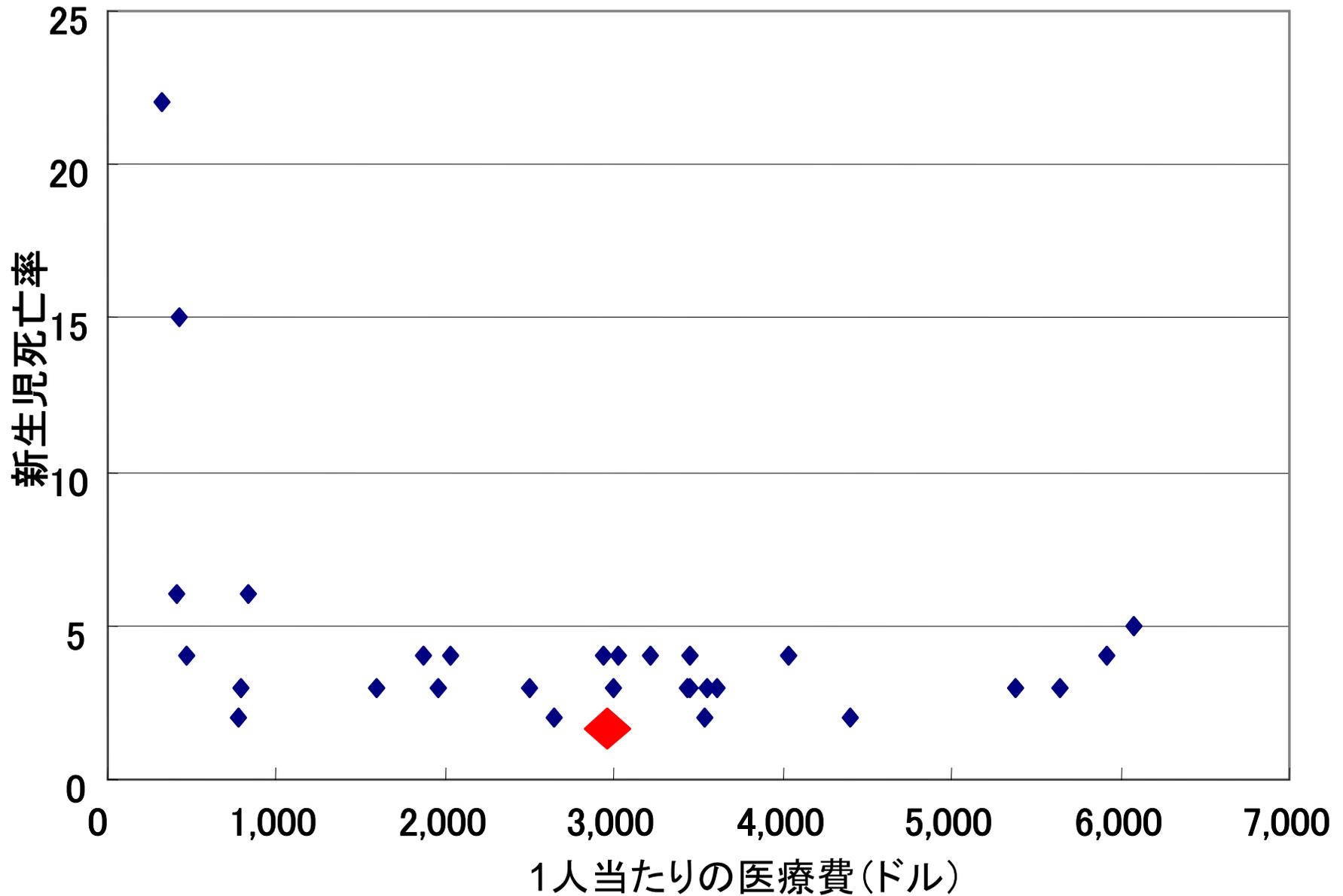
平均寿命(女性)と新生児死亡率の関係(2002年)



医師数と新生児死亡率の関係(2000年)



医療費と新生児死亡率の関係(2000年)



課題

- 我が国の周産期医療のニーズはさらに増加している
- しかし、このニーズの増加に近年対応できていない
- その結果、母体搬送、新生児搬送受入れ不可例が増加している
- その原因は、施設の不足、NICU病床数の不足、新生児科医の不足

新生児医療統計(I)

ハイリスク新生児発生数の比較

	平成6年	平成17年
人口	124,069,000	126,204,902
出生数	1,238,328	1,062,530
出生率(人口1000)	10.0	8.4
低出生体重児出生数	88,362	101,272
低出生体重児出生率(%)	7.1	9.5
新生児死亡数	2,889	1,510
新生児死亡率(出生1000)	2.3	1.4

平成6年から総合周産期母子医療センターが全国に整備

新生児医療統計(Ⅱ)

必要医療施設の比較

NICU必要数の推計

平成6年研究班

2床/1000出生

平成19年研究班

3床/1000出生

整備すべきNICU病床数

現在あるNICUの病床数

医療施設調査

2341床

診療報酬届出数

2032床

平成19年研究班の研究結果

必要なNICU病床の総数

3000床

不足しているNICU病床の総数

700床～1000床

うち早急に整備すべき病床

200床～500床

対策

- 周産期医療供給体制の増強
設備
病床
人材
- 大学病院は上記を供給できる

大学病院で総合周産期母子医療センター(28/75)

岩手医科大学附属病院

福島県立医科大学医学部附属病院

筑波大学附属病院

自治医科大学附属病院

獨協医科大学病院

埼玉医科大学総合医療センター

東京女子医科大学附属八千代医療センター

東京女子医科大学病院

東邦大学医療センター大森病院

帝京大学医学部附属病院

杏林大学医学部附属病院

日本大学医学部附属板橋病院

昭和大学病院

北里大学病院

東海大学医学部附属病院

横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター

順天堂大学医学部附属静岡病院

関西医科大学附属枚方病院

大阪大学医学部附属病院

奈良県立医科大学附属病院

和歌山県立医科大学附属病院

鳥取大学医学部附属病院

徳島大学病院

香川大学医学部附属病院

福岡大学病院

久留米大学病院

九州大学病院

宮崎大学医学部附属病院

大学病院で地域周産期母子医療センター(29/236)

国立大学法人群馬大学医学部附属病院

埼玉医科大学病院

東邦大学医療センター佐倉病院

東京慈恵会医科大学附属病院

東京医科大学病院

慶應義塾大学病院

順天堂大学医学部附属順天堂医院

東京女子医科大学東医療センター

聖マリアンナ医科大学病院

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

日本医科大学武蔵小杉病院

横浜市立大学付属病院

昭和大学横浜市北部病院

山梨大学医学部附属病院

信州大学医学部附属病院

浜松医科大学医学部附属病院

福井大学医学部附属病院

国立大学法人三重大学医学部付属病院

京都府立医科大学付属病院

京都大学医学部付属病院

近畿大学医学部付属病院

大阪医科大学付属病院

神戸大学医学部付属病院

兵庫医科大学病院

岡山大学病院

川崎医科大学附属病院

広島大学病院

山口大学医学部付属病院

愛媛大学医学部付属病院

大学病院の役割と課題

- 周産期医療を実施可能な施設と人材が整っている
- 全ての疾患に対応可能な周産期母子医療センターとして運営可能である
- 周産期医療に従事する医師の供給源になる
- しかし、現実には57施設（総合28、地域29）のみが周産期母子医療センターを運営している